

2025 年 10 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2026 年 4 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講座 (学修分野)	国際比較経済 (グローバル経営・経済)、 経済理論・統計、政策科学、経営学
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1、問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 日本のマクロ経済が以下の連立方程式で記述されている。

$$Y = C(Y) + I(r) + G + NX(e, Y)$$

$$L(Y, r) = M$$

ただし、 Y は国民所得、 r は利子率、 e は外生的に与えられる為替レート (e 円/ドル)、 $C(Y) = cY$ は消費関数 ($0 < c < 1$)、 $I(r) = -ar$ は投資関数 ($a > 0$)、 G は政府支出、 $NX(e, Y) = qe - mY$ は純輸出関数 ($q > 0$, $m > 0$)、 $L(Y, r) = kY - br$ は貨幣需要関数 ($k > 0$, $b > 0$)、 M は貨幣ストックである。ここで小国の仮定は設けていないことに注意する。このとき、以下の各問に答えなさい。

- (1) このモデルの均衡における純輸出の水準を求めなさい。
- (2) いま為替レートが円安 (e の上昇) に振れたとしよう。このとき、日本の国民所得がどのように変化するかを説明しなさい。
- (3) いま想定を変更し、貨幣ストックが為替レートに直接影響を及ぼすと仮定しよう。具体的には、 $e = g(M)$ 、ただし、 g は減少関数 ($g' < 0$) とする。このとき、貨幣ストックの増加が利子率にどのような影響を及ぼすかを説明しなさい。
- (4) 設問(3)の設定のもとで、日本銀行が、債券市場から国債を買い入れたと仮定しなさい。このとき、為替レートと消費水準がどのように変化するかを説明しなさい。

問 2 金融政策の効果が現れないとき、可能性の一つとして、経済が流動性の罠に陥っていることが考えられる。このとき、以下の各問に答えなさい。解答の際、説明 (図示) に必要な変数等は各自で定義し、解答用紙に必ず記載しなさい。

- (1) 流動性の罠とは何か、IS 曲線と LM 曲線を図示して説明しなさい。
- (2) 流動性の罠が生じるメカニズムを、貨幣市場の均衡を図示して説明しなさい。

以上